

第六回・新春

浦安川柳大会

令和六年二月十七日（土）

ウエーブ101・練習室

ご挨拶

第六回新春浦安川柳大会に出席・投句をいただきありがとうございます。
出席二十八名と投句五名の三十三名の参加をいただきました。

今回、浦安市以外から池下富裕様と稲沢ひろせ様の二名の方に選者をお願い致しました。今後も外部の選者様をお願いするつもりです。

大会終了後、懇親会を「はなの舞」にて二十四人の方々と川柳談義をまじえながら一夜の楽しい時を過ごしました。

来年も開催出来るのを楽しみにしています

令和六年二月吉日

選者紹介

課題 「ハッスル」

佐藤 公江選

(うらやす川柳会・講師)
(カレッジ川柳会・講師)

池下 富裕選

(千葉県川柳作家連盟・副理事長)

課題 「尽くす」

佐藤 青樹選

(浦安とみおか川柳会・講師)

稲沢ひろせ選

(東京みなと番傘川柳会)

課題 「一安心」

矢嶋もと之選

(うらやす川柳会)

磯崎ひろこ選

(うらやす川柳会)

特別課題 「あやふや」

城野けんじ謝選

(うらやす川柳会)

青べか賞

朝市を吠える火炎が舐め尽くす

課題「尽くす」

水沢 京子

準賞

課題「一安心」

平熱に戻りいつもの眉の位置

吉田 貞恵

「ハッスル」

佐藤 公江選

秀 矢嶋もと之

春風が縮んだ老いを弾ませる
 腕によりかけた料理が嫁を待つ
 年寄りのテニスコートの空元氣
 もう十年更新しますパスポート
 元彼へこれ見よがしに新彼氏
 頼られてパパが作ったオムライス
 若者に負けてたまるか肉食らう
 モーレツを生き抜いた身の武者震い
 八十路から未知の世界を行く私
 胸を張れ丸い背中が声を張る
 加齢ストレス立ち向かうぞと四股を踏む
 飲み会するときだけ目立つ奴がいる

金城風見子
 大西 旅人
 松谷のん紀
 佐藤 青樹
 磯崎ひろこ
 城野けんじ
 稲沢ひろせ
 片柳 流里
 片柳 流里
 吉田 貞恵
 大西 旅人

返り咲き期してリハビリ苦にならず

代走の僕が優勝してしまう

道ならぬ恋の細道つつ走る

夢を乗せ生きる女の兎とび

朝練の気合いと走る白い息

崖つぷちやつとやる気が目を覚ます

誉め言葉子のハッスルに火を付ける

古希の坂助走を付けてラストラン

老妻の春待つ庭へ種を蒔く

再会へ少し派手目のワンピース

流行をまとい時代を先駆ける

手も口も出して世話焼く祭り好き

リハビリが明日の夢をふくらませ

山岸 順

吉田 貞恵

城野けんじ

磯崎ひろこ

高田 文子

鈴木 諄三

永井 三楽

三浦みちえ

片柳 流里

光永ひかる

池下 富裕

佐藤 青樹

矢嶋もと之

白寿まで弱音吐かないスニーカー

「客」

三浦みちえ

詰め放題さあ主婦の知恵見せましょう

水沢 京子

シナリオを変えてまだまだ生きてやる

山岸 順

キックバックを期待パー券売りまくる

村上 健

エンジンを全開させるラストラン

矢嶋もと之

スローなど待てぬクイツク老いの恋

「人」 佐藤 青樹

香水を変えて残り火搔き立てる

「地」 稲沢ひろせ

死に神の死角でそつと四股を踏む

「天」 池下 富裕

「ハンスル」

池下 富裕選

飲み会るときだけ目立つ奴がいる

「秀」 大西 旅人

雷鳴が会話してるよ雪の夜

中葉 放太

傘寿とて恋は出来るぞまだいける

吉田 貞恵

古希の坂助走を付けてラストラン

三浦みちえ

年頭の誓い書かずに叫ぶだけ

村上 健

優勝と大関ねらい鬼の顔

両角 節児

白寿まで弱音吐かないスニーカー

三浦みちえ

朝練の気合いと走る白い息

高田 文子

再会へ少し派手目のワンピース

光永ひかる

シナリオを変えてまだまだ生きてやる

山岸 順

蛮声を上げ若者の一気飲み

佐藤 公江

君だけとうまく乗せられ舟をこぐ

塩見 和昭

リハビリが明日の夢をふくらませ
返り咲き期してリハビリ苦にならず
頼られて。パパが作ったオムライス
おそろしや5期目を狙う独裁者
好奇心まだまだ詰める旅カバン
八十路から未知の世界を行く私
手も口も出して世話焼く祭り好き
春風が縮んだ老いを弾ませる
元彼へこれ見よがしに新彼氏
コストコの値札おばさん駆り立てる
自分より重い患者に激もらう
金と政治元気みなぎる野党吠え
道ならぬ恋の細道つつ走る

矢嶋もと之
山岸 順
磯崎ひろこ
村上 健
磯崎ひろこ
片柳 流里
佐藤 青樹
矢嶋もと之
佐藤 青樹
谷口 勝
稲沢ひろせ
金城風見子
城野けんじ

キックバックを期待パー券売りまくる

「客」

村上 健

初春の気合いそのまま年の暮れ

光永ひかる

怒ってる妻の指圧は痛すぎる

佐藤 公江

香水を変えて残り火掻き立てる

稲沢ひろせ

戦場へ挑み続ける生きる道

難波 栄子

胸を張れ丸い背中が声を張る

「人」 片柳 流里

夢を乗せ生きる女の兔とび

「地」 磯崎ひろこ

スローなど待てぬクイツク老いの恋

「天」 佐藤 青樹

「尽くす」

佐藤 青樹選

被災者の感謝が痛いボランティア

「秀」 塩見 和昭

贅沢を着せてオトコを光らせる

稲沢ひろせ

半世紀尽くし尽くされ百めざす

村上 健

車椅子支えた嫁に感謝状

三浦みちえ

里帰り話題尽きない明けの月

三浦みちえ

看取られず輪島朝市燃え尽くす

塩見 和昭

超多忙災害の国ボランティア

村上 健

手を尽くす不治の病と知りながら

鈴木 諄三

帰省の子母の手料理食べ尽くす

磯崎ひろこ

リハビリの妻の手となり足となり

佐藤 公江

病床の父に尽くして母は逝く

塩見 和昭

有り難う尽くし尽くされ五十年

高橋 謙哉

食べ尽くす子の制服よ火の車

ボランティア額の汗に自負がある

能登地震揺れと火災で全て消え

逝った母の最期の言葉ありがとう

出尽くした意見ひっくり返す味

尽くしたと言ひ張る妻と喧嘩沙汰

やれるだけやった介護に仰ぐ空

大地震ガレキの前に立ち尽くす

オレオレの餌食にされる親心

ガザの地を疲れた顔が埋め尽くす

泣き尽くすきつと笑顔になれるから

深夜まで尽きぬ話の青春譜

寄り添ってくれたと気付く老いの日々

大村ヒロ坊

山岸 順

高橋 謙哉

城野けんじ

金城風見子

難波 栄子

難波 栄子

両角 節児

矢嶋もと之

矢嶋もと之

稲沢ひろせ

磯崎ひろこ

鈴木 淳三

尽くしても多く貰えぬ遺産分け

「客」

谷口 勝

母の介護終えて娘はひとりぼち

矢嶋もと之

脱サラの屋台を引けば妻が押し

佐藤 公江

ライバルの挙式とことん飲み尽くす

稲沢ひろせ

働いて働きつくしウサギ小屋

高田 文子

朝市を吠える火炎が舐め尽くす

「人」

水沢 京子

定年の無いまま今日もおさんどん

「地」

水沢 京子

燃え尽きた苦い思いが顔を彫る

「天」

永井 三楽

「尽くす」

稲沢ひろせ選

「秀」

池下 富裕

愛情を三度の飯に振りかける

岡田まつり

日記帳喜怒哀楽を埋め尽くす

池下 富裕

宗教を信じ教祖へカネを積む

佐藤 青樹

キックバック受けて秘書だけ首切られ

谷口 勝

政治家のベスト尽くすは何もせず

大西 旅人

サケ豊漁サケ弁三個食べ尽くす

金城風見子

芋尽くし高いコースも芋は芋

佐藤 公江

脱サラの屋台を引けば妻が押し

高田 文子

働いて働きつくしウサギ小屋

杉本こうこ

枯らすまい最善尽くす花一輪

中葉 放大

胸の内汲んでくれたか盆の梅

佐藤 公江

やれるだけやった介護に仰ぐ空
尽くすのは女と言ったのは昔
妻の辞書に夫に尽くすなどはない
尽くしたと言ひ張る妻と喧嘩沙汰
手を尽くし先祖のルーツ辿る旅
親探し又使い手を尽くす
寄り添って語り尽くせぬ影が伸び
里帰り話題尽きない明けの月
ボランティア額の汗に自負がある
被災者の感謝が痛いボランティア
盲導犬役目を終えて里帰り
一粒も残さず食べる昭和人
帰省の子母の手料理食べつくす

難波 栄子
佐藤 公江
大西 旅人
難波 栄子
高田 文子
両角 節児
大村ヒロ坊
三浦みちえ
山岸 順
塩見 和昭
鈴木 諄三
城野けんじ
磯崎ひろこ

ビタミン愛味煮ふくめる落し蓋

「客」

光永ひかる

手を尽くす不治の病と知りながら

鈴木 諄三

トー横に立ってホストへ入れ揚げ

池下 富裕

朝市を吠える火炎が舐め尽くす

水沢 京子

ありがとうの五文字が母のエネルギー

水沢 京子

大地震ガレキの前に立ち尽くす

「人」

両角 節児

ガザの地を疲れた顔が埋め尽くす

「地」

矢嶋もと之

燃え尽きた苦い思いが顔を彫る

「天」

永井 三楽

「一安心」

矢嶋もと之選

「秀」

大西 旅人

塩見 和昭

高田 文子

山岸 順

鈴木 諄三

城野けんじ

磯崎ひろこ

金城風見子

両角 節児

金城風見子

両角 節児

岡田まつり

直前に相手の名前よみがえる

手が離れ自分の趣味に手が出せる

甘ったれの親離れしたランドセル

手を焼いた息子今では二児のパパ

不惑過ぎ息子がやつと妻帯者

五十年熟成させて嫁に出す

再検査疑い晴れてハイタツチ

定期検診癌の再発白と出る

旅の宿予約が取れてグーポーズ

ともかくも終電に乗れ傘もある

電車事故代替えバスに無事に乗れ

下山したと連絡取れて帰り待つ

充分に蓄えました非常食

病む母の元氣コールのあつた朝

「ヤマ越えた」ひとまず息を継ぐメール

句読点ひと安心のペンを置く

免許返納やつと我が家も丸くなる

お隣も二千万などないと言う

シエルターを庭に作って備蓄品

豊作を迎えてほつとする案山子

揉め事もなくラブラブの成田着

プロポーズ済ますと酔いがどつと来る

食い延ばしやつと迎えた年金日

あの人に内緒保険を掛けている

探索ロボおもちや仲間をほつとさせ

鈴木 諄三

吉田 貞恵

稲沢ひろせ

杉本こうこ

磯崎ひろこ

池下 富裕

城野けんじ

光永ひかる

池下 富裕

佐藤 公江

佐藤 青樹

山岸 順

永井 三楽

良性と言われ一本付く夕餉

「客」

大村ヒロ坊

産み終えて深い眠りに付く産婦

三浦みちえ

さあ乾杯大病癒えて五度の春

水沢 京子

一病を抱えながらも傘寿越え

高田 文子

句を一つ添えて自分史締めくくる

佐藤 公江

ネジ巻けばまだまだまだ動く古時計

「人」 高田 文子

ローン終え大吟醸の酔い心地

「地」 池下 富裕

平熱に戻りいつもの眉の位置

「天」 吉田 貞恵

「安心」

磯崎ひろこ選

傷癒す葉は母のひざまくら

「秀」 光永ひかる

豊作を迎えてほっとする案山子

光永ひかる

シエルターを庭に作って備蓄品

城野けんじ

一病を抱えながらも傘寿越え

高田 文子

あつたあつた受験番号私のだ

小澤 昌子

漏らすなら履かせてしまえ紙おむつ

藤 三休

あの人に内緒保険を掛けている

山岸 順

「ヤマ越えた」ひとまず息を継ぐメール

稲沢ひろせ

平均寿命達成したぞもういいか

村上 健

財産を全部まとめて貸金庫

城野けんじ

笑う力何はなくとも命綱

難波 栄子

お隣も二千万などないと言う

池下 富裕

ドクターの一言安堵あふれ出る

杉本こうこ

手を焼いた息子今では二児のパパ

山岸 順

食い延ばしやつと迎えた年金日

佐藤 青樹

充分に蓄えました非常食

鈴木 諄三

句を一つ添えて自分史締めくくる

佐藤 公江

陽はまた昇る地球廻っている限り

村上 健

甘ったれの親離れしたランドセル

高田 文子

大丈夫明日になれば忘れてる

水沢 京子

直前に相手の名前よみがえる

大西 旅人

詐欺に遭っても補償しますと保険詐欺

村上 健

新薬へ期待を寄せる認知症

三浦みちえ

平熱に戻りいつもの眉の位置

吉田 貞恵

左遷地の旨い地酒に救われる

佐藤 公江

手が離れ自分の趣味に手が出せる

「客」

塩見 和昭

政権を取れぬ野党という安堵

稲沢ひろせ

ローン終え大吟醸の酔い心地

池下 富裕

ネジ巻けばまだまだ動く古時計

高田 文子

下山したと連絡取れて帰り待つ

岡田まつり

過疎の地へ青い目が住み村おこし

「人」

三浦みちえ

プロポーズ済ますと酔いがどつと来る

「地」

佐藤 公江

揉め事もなくラブラブの成田着

「天」

池下 富裕

「あやふや」

城野けんじ謝選

何事も不明で通す祭りごと

「秀」

光永ひかる

どこにどう効くのか薬また増える

佐藤 公江

見合い席あいまい返事で幸逃がす

長谷川 智

講習を受けたスマホのうろ覚え

高田 文子

わからないがわかりましたと返事する

岡田まつり

居る場所をスマホに問うて歩き出す

矢嶋もと之

煮え切らぬ男見捨てて女翔ぶ

佐藤 公江

何となくこんな感じと書く漢字

塩見 和昭

ジェンダーへ疑問持ちつつ挙式上げ

矢嶋もと之

自慢ばなし毎日変わるおじいちゃん

小澤 昌子

あいまいな仕草おんなの計りごと

磯崎ひろこ

薄らいだ記憶の中にある記憶

高田 文子

煮えきらぬ彼を急かせてゴールイン

煮えきらぬ男に持たす手りゆう弾

修羅の果てしどろもどろになる別れ

嫌いよと言つて目元は好きと言う

童謡の二番三番混ざつてる

わが視力欠けた円弧も丸に見え

飲み過ぎへ記憶をたどる点と線

言い訳と減らず口とが綱引きす

説明が訛交つて分からない

老いの恋入れ歯外れて意味不明

迂回路のつもり出口を見失う

あやふやで苦戦しているホッチキス

あやふやなものさし持つて案を練る

三浦みちえ

矢嶋もと之

池下 富裕

佐藤 青樹

岡田まつり

大西 旅人

池下 富裕

片柳 流里

小澤 昌子

佐藤 青樹

佐藤 公江

杉本こうこ

杉本こうこ

まだら惚け書くに書けない回顧録

「客」

松谷のん紀

どこへ行く一緒だったらどこへでも

小澤 昌子

女房のどこに惚れたか記憶ない

水沢 京子

書く度に漢字の薔薇が悩ませる

高田 文子

微笑みが焦らして伸ばす鼻の下

水沢 京子

薬飲んだか記憶の山を駆け巡る

「人」

金城風見子

開けゴマ何度も入れるパスワード

「地」

塩見 和昭

道迷い使えぬスマホブーと泣く

「天」

大村ヒロ坊

参加者・投句者氏名（敬称略）

池下 富裕	稲沢ひろせ	三浦みちえ	大西 旅人	金城風見子
大村ヒロ坊	谷口 勝	杉本こうこ	藤 三休	吉田 貞恵
塩見 和昭	城野けんじ	長谷川 智	矢嶋もと之	片柳 流里
難波 栄子	高橋 謙哉	松谷のん紀	光永ひかる	堀江喜代子
高田 文子	岡田まつり	磯崎ひろこ	山岸 順	水沢 京子
佐藤 青樹	佐藤 公江	小澤 昌子		

（28名）

村上 健	両角 節児	鈴木 諄三	中葉 放大	永井 三楽
------	-------	-------	-------	-------

（5名）

御芳志御礼（順不同）

池下 富裕様

稲沢ひろせ様

佐藤 公江様

佐藤 青樹様

うらやす川柳会様

浦安とみおか川柳会様

カレッジ川柳会様

浦安市内・川柳サークル紹介

○ うらやす川柳会

・毎月第4金曜日…午後1時～4時

中央公民館・講師（佐藤 公江）

○ 浦安とみおか川柳会

・毎月第2火曜日…午後1時～4時

富岡公民館・講師（佐藤 青樹）

○ カレッジ川柳会

・毎月第4水曜日…午後1時～4時

美浜公民館・講師（佐藤 公江）

主催…浦安川柳連盟